

令和4年度  
(2022年度)

## 総合教育部の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- 教育大綱、教育振興基本計画に基づく取り組みの実現
- 教育委員会と市長部局の連携による施策の充実
- 誰一人取り残さないSDGsの目標を踏まえた取り組みの推進

### 重点的な取り組み：学校規模等の適正化（禁野小学校の開校等）

将来の児童・生徒数を見据え、教育環境の維持・向上のため策定した「枚方市学校規模等適正化基本方針」及び「枚方市学校規模等適正化実施プラン」に基づき、旧高陵小学校と旧中宮北小学校の統合を進め、令和4年4月、禁野小学校が開校しました。今後は、新しい学校づくりにかかる諸課題や禁野小学校新校舎の施設等に関する事項について取り組みを進めます。

また、旧中宮北小学校の跡地活用について、施設の集約化を基本に地域等の意見もお聞きしながら協議検討を進めます。

大規模校・過密校においては、引き続き、児童・生徒数の将来推計の把握や住宅開発等の定期的な確認を行い、教室が不足することのないよう注視するとともに、小規模校においては、枚方市学校規模等適正化基本方針に基づき、適正化に向けた取り組みを進めます。

<b>実 績</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 「枚方市立禁野小学校」の新しい学校づくりに係る取組み。</li><li>② 旧中宮北小学校跡地活用の庁内意向調査の実施。</li><li>③ 学校規模等適正化の取組み。</li></ul>
<b>説 明</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 令和8年度中の新校舎完成に向けた諸課題への対応を円滑に進めるため、地域・児童の保護者・学校の代表者と教育委員会等で構成される「枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会」の開催や関係部署との協議を行うなど、同校の新しい学校づくりに係る取り組みを進めました。</li><li>② 禁野小学校新校舎建設後の旧中宮北小学校跡地活用について、既存の公共施設の集約化を基本に庁内で意向調査を行うとともに、その調査結果やこれまでに地域から寄せられた要望等について、関係部署等と情報共有しました。</li><li>③ 市内住宅開発等の定期的な確認を含め、児童・生徒数の将来推計を把握するとともに、余裕教室数が少ない学校や関係部署と意見交換等を行いました。また、過密校対策として菅原東小学校の仮設校舎の増築を行いました。</li></ul>

### 重点的な取り組み：小学校水泳授業の民間活力の活用

児童の泳力向上を図るため、小学校の水泳授業において、民間の専門スタッフが指導に当たる取り組みを進め、併せて、水泳授業に係る業務の改善や、学校プール施設の老朽化に伴う維持管理、改修・改築費用の縮減などにつなげます。

令和4年度は実証期間として、小学校6校において、児童が民間のプール施設に移動して授業を行う方法と、専門スタッフの派遣を受けて学校プールで授業を行う方法で取り組みを進め、手法を含めた事業の効果・課題の検証を行います。

その後、検証結果を踏まえ、令和5年度以降の年次スケジュールや実施手法を学校ごとに明らかにした推進計画を作成し、順次、民間活力の活用を進めていきます。

<p><b>実績</b></p>	<p>①学校水泳授業の民間活力の活用に向けた取り組み。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 令和4年5月24日に初回の授業を行った殿山第二小学校を皮切りに、小学校6校（蹉跎、山田、殿二、氷室、樟葉西、田口山）の水泳授業について、民間活力の活用により実施しました。学校規模、実施手法（民間施設利用 or スタッフ派遣）、施設への移動方法（徒歩 or バス）、授業の時期（1学期 or 2学期）について異なるケースを組み合わせ、それぞれの課題と効果を検証しました。その結果、一部に課題はあったものの、所期の効果のうち、特に児童の泳力向上と教員の業務改善は顕著に認められる等、総じていえば効果は課題よりも大きいといえることから、令和5年度以降、拡充の方向で実施することとしました。また、令和5年度までの事業効果を踏まえながら、各民間施設の受入意向や受入許容人数を正確に見極めた上で、民間活用のスケジュールや実施手法等を示す推進計画の作成に、可能な限り早期に取り組みます。</p>

### 重点的な取り組み：小中学校給食の取り組み

全ての生徒にとって望ましい持続可能な中学校給食の実現に向けた取り組みを進めます。

令和3年度に設置した有識者やPTA、学校関係者で構成する「枚方市中学校給食あり方懇話会」からの意見等を踏まえ、「(仮称)今後の中学校給食に関する方針」を策定するとともに、安定的で継続的な手法の具体化に取り組んでいきます。

老朽化が進む小学校給食の単独調理場については、改修・整備に関する計画を明確化するとともに、給食の提供に不可欠となる改修工事や衛生管理に優れたドライシステム導入などの整備に取り組めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>①「今後の中学校給食に関する方針」の策定。 ②中学校全員給食に向けた取り組みとして、学校給食施設整備等可能性調査を開始。 ③小学校単独調理場について、各種工事にかかる設計委託や改修工事等の整備を実施</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 枚方市中学校給食のあり方懇話会や、保護者・生徒へのアンケート調査、パブリックコメント等の意見を踏まえ、中学校給食の全員給食に向けた「今後の中学校給食に関する方針」を令和4年12月に策定しました。 ② 令和5年3月から中学校給食の全員給食に向けた取り組みとして、実施可能な調理場の整備手法、PFI手法の導入可能性、調理場の整備方法など検討や調査を行う学校給食施設整備等可能性調査委託を開始しました。</p>

	<p>今後は、方針に沿った全員給食の実施のために最適となる整備手法や想定費用等、事業者選定に向けた検討をするとともに、運用面においても学校現場と調整を図りながら課題等についての検討・調整を進めていきます。</p> <p>③ 樟葉南小単独調理場の屋根等、菅原東小単独調理場の給湯管等、田口山小単独調理場の屋根等の改修設計委託を行い、樟葉北小単独調理場の外壁等の改修工事を実施しました。また、樟葉西小単独調理場については、令和5年度も引き続き、長寿命化のための大規模改修工事を進めていきます。</p>
--	--

**重点的な取り組み：図書館施策（電子図書館・学校図書館支援事業・財源確保など）について**

ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして令和3年7月に導入した電子図書館システムについて、積極的なPR及び情報発信を行い、更なる利用者拡大を図ります。

既に導入しているネーミングライツの追加募集や、広告媒体の範囲拡大、図書館敷地内に設置する自動販売機の増設など、市民サービスの向上に取り組むとともに、図書費の財源確保に努めます。

児童・生徒の読書習慣の確立や情報活用力の育成をめざし、市立中学校全19校に加え、市立小学校20校に配置した学校司書（うち、小中学校2校兼務8人、小学校2校兼務6人）と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図ります。さらに、学校図書館システムの管理・技術的支援等を行うとともに「調べ学習等団体貸出」など図書の貸出により学校図書館への支援に取り組めます。

図書館7分館（香里ヶ丘・楠葉・菅原・蹉跎・牧野・津田・御殿山）について、指定管理者の指定期間が令和5年（2023年）3月31日で満了となるため、令和4年度において、次期指定管理者の公募を行います。

<p><b>実績</b></p>	<p>①「ひらかた電子図書館」広報活動の実施。          &lt;蔵書数：10,054 タイトル&gt;、&lt;貸出数：31,823 冊&gt;、          &lt;実利用者数：3,860 人&gt;、&lt;ログイン数：55,825 回&gt;</p> <p>②中央図書館敷地内の自動販売機の増設と新たなネーミングライツパートナーの獲得。</p> <p>③学校司書への支援及び学校図書館機能の充実。          &lt;市内全小学校の学校図書館での一人当たりの年間貸出冊数：22.02 冊&gt;、          &lt;調べ学習等団体貸出回数（受付件数）：小中学校 507 件、貸出冊数：9,417 冊&gt;</p> <p>④図書館7分館（香里ヶ丘・楠葉・菅原・蹉跎・牧野・津田・御殿山）指定管理者の公募・選定を実施。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 令和3年度に導入した電子図書館について、新規利用者の増加を図る観点から、広報ひらかた令和4年6月号に特集記事を掲載し、市民への周知を行いました。</p> <p>また、令和4年6月には全市立小中学校の全児童・生徒へ配備されたタブレ</p>

	<p>ット端末から電子図書館を利用できるようにするとともに、8月には児童・生徒向けの同時アクセス数制限のないコンテンツ（児童書読み放題パック）を購入し、より手軽に読書を楽しめる環境整備を行いました。</p> <p>令和5年度は更なる新規利用者の獲得と利用者のニーズに合わせた電子書籍のタイトル数を増やしていくことが課題です。</p> <p>② 令和4年4月より中央図書館敷地内に設置している自動販売機を増設し、市民サービスの向上と図書費の財源確保に努めました。</p> <p>また、ネーミングライツについて、令和4年8月より新たに枚方市書店商業協同組合が中央図書館軽読書コーナーのネーミングライツパートナーとなりました。</p> <p>令和5年度も引き続きネーミングライツの追加募集を行うなど、更なる財源の確保に努めます。</p> <p>③ 令和4年4月より配置された8校を含む、20校の学校司書配置小学校で貸出冊数が増えました。</p> <p>また、調べ学習や並行読書など授業における学校図書館の活用も促進され、市立図書館の調べ学習等団体貸出の利用が増加しました。</p> <p>令和4年9月に学校図書館システムを更新するとともに、学校司書連絡会を年10回開催して学校司書のスキルアップ向上を図りました。</p> <p>令和5年度も引き続き子どもの読書活動推進及び情報活用能力の育成に向けて、学校教育部と連携し、小学校への更なる学校司書配置に向けて取り組みます。</p> <p>④ 図書館7分館（香里ヶ丘・楠葉・菅原・蹉跎・牧野・津田・御殿山）の指定管理者公募を行い、指定管理者選定委員会の答申を受けて、新たな指定管理者の指定を行いました。</p>
--	---

### 重点的な取り組み：児童・生徒の通学路の安全対策

通学路の安全確保のため、「枚方市子どもの交通安全プログラム」に基づき、警察や道路管理者等と連携して定期的な合同点検を実施し、交通安全教育や通学路の変更、見守りの強化などソフト対策とともに、路面標示やポストコーン設置などにより、通学環境の改善を行い、継続的な取り組みを進めていきます。

また、登下校における児童・生徒のさらなる安全・安心を高めるため、公民連携による民間活力を活用するなど多様な取り組みを進めていきます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 通学路における合同点検の実施。</p> <p>② 路線バスにおける臨時便の定期便化。</p> <p>③ 安全見守りサービス「オッタデ！」の導入拡大。</p>
------------------	---

<b>説 明</b>	<p>① 「枚方市子どもの交通安全プログラム」に基づき、学校から報告のあった通学路の危険箇所について、道路管理者、教育委員会、警察署等で合同点検を実施し、危険箇所等の解消を図りました。</p> <p>② 通学の安全確保のため、京阪バス（株）と協議を重ねた結果、令和3年3月より学校運営日にあわせ、臨時便として増便した分について、令和4年12月から定期便化しました。</p> <p>③ 通学路の安全見守りサービス「オッタデ！」の導入拡大に向け、基地局の増設など、サービス利用に係る環境を順次整備するとともに、導入校にあたっては、全児童に見守り端末を配付しました。</p>
------------	--

### 重点的な取り組み：学校における新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策

児童・生徒の安全・安心を守るため、国の補助金や交付金も活用しながら新型コロナウイルス感染症対策を講じます。児童・生徒への感染防止の徹底のため、教室等の衛生環境の向上に必要な消毒液などの購入予算を学校へ配当します。

学校給食における感染症対策については、給食当番を行う児童・生徒の毎日の体調チェック・記録を行うとともに、「手洗い」「黙食」「机を向かい合わせにしない」などの感染防止対策を継続していきます。調理場においては、調理員の手洗い・消毒の徹底や飛沫感染防止はもとより、休憩時に密とならないよう食事の時間をずらすなどの接触感染防止にも取り組みながら、感染症対策を継続していきます。

<b>実 績</b>	<p>① 国の補助金を活用した感染症対策に係る予算の配当及び執行管理。</p> <p>② 国の交付金を活用した市立小・中学校のトイレ清掃委託。</p> <p>③ 基準に沿った感染拡大防止対策の情報提供と取り組みの徹底、調理従事者の感染防止対策の実施。</p>
<b>説 明</b>	<p>① 国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、感染症対策を目的とした予算を各学校に配当したことにより、消毒液等の消耗品の購入等、各学校にて学校内生活における感染症対策を行いました。</p> <p>② 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、市立小・中学校のトイレ清掃委託を実施しました。</p> <p>③ 「給食指導の手引き」に基づく給食当番活動の徹底を周知するとともに、教育委員会から学校に向け発信している新型コロナウイルス感染症におけるマニュアルにおいて、府の対応に沿って取り組み内容を更新し、適正な感染防止対策の実施について繰り返し周知することで、安全で衛生的な給食活動の推進に取り組みました。また調理従事者に対しては、学校給食衛生管理基準や、飛沫・接触感染防止対策の徹底を図り、滞ることなく学校給食の提供を実施できました。</p>

## 重点的な取り組み：社会教育の推進

超スマート社会やグローバル化の進展など社会が激しく変化する中、SDGs の目標「質の高い教育をみんなに」を念頭に、市民が人生 100 年時代を豊かに生きていける取り組みを展開します。

今年度は「変化の時代に生きる」という視点から、暮らしに役立つ社会制度をテーマにした社会教育基礎講座や、子育て支援を行う家庭教育支援事業、人権を尊重することの大切さを伝える社会教育（人権）講座等を開催します。

また、日本語・多文化共生教室「よみかき」については、新たなスタッフを養成する講座を実施し、受講者のニーズに応じた教室開催につなげます。

なお、各事業の実施に当たっては、広く情報が届くよう、教育委員会のブログなども活用しながら発信の強化に努めます。

<b>実績</b>	① 『変化の時代を生きる』を共通のテーマに設定し、新型コロナウイルス感染症の感染状況などを注視しながら、「社会教育基礎講座」、「家庭教育支援事業」、「社会教育人権啓発事業」を実施。 <事業への延べ参加者数：3,375人>
<b>説明</b>	① 社会教育基礎講座は、「キャッシュレスってなに？～お金の払い方を考える～」(参加35人/定員40人)、「シニア向け スマホでできる防災対策教室」(参加18人/定員20人)、「インターネット安全教室～そのメッセージ、信じて大丈夫？～」(参加29人/定員40人)を実施しました。 家庭教育支援事業として、参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する気づきを促す「子育て応援！親学び講座」のうち公開講座(参加9人/定員10人)・出前講座(計2回実施/参加合計17人)や、「夏休み親子講座『おみせやさんごっこ』で学ぶ『お金』のこと」(参加15組33人/定員15組30人)、「春休み 親子で楽しむ『燃料電池実験教室』」(参加8組18人/定員10組)、枚方市PTA協議会と共催の教育講演会『子どもを育てる』大人から『子どもが育つ』大人へ～変化の時代を生きる～(参加116人/定員200人)、中央図書館と共催の講演会「ねえこのほんよんで～乳幼児期の読み聞かせで育む、子どもの未来～」(参加33人/定員40人)、「ストレスマネジメント～思春期の子どもに向き合うために～」(参加26人/定員36人)を実施しました。

## 重点的な取り組み：教育委員会の情報発信の強化

子どもたちが自らよりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められる中、さまざまな教育施策を推進するため、市長と教育長、教育委員とで構成する「総合教育会議」も活用しながら、市と教育委員会の連携による施策の充実を図るとともに、教育委員会と学校の情報共有を密にし、より一体となった学校運営を進めます。

その上で、児童・生徒、保護者、市民にとって必要な情報を適切に発信するため、学校ブログ

の本格運用を開始し、学校での児童・生徒の様子や配付物、行事予定のほか、教育委員会での取り組み等を積極的に公表するなど、教育委員会の活動の見える化を進めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 総合教育会議の開催。 ② 学校ブログを活用した取り組み。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 第1回総合教育会議は、令和4年8月12日に、「中学校給食について」を案件として開催しました。会議では、教育委員会において取りまとめを行った「今後の中学校給食に関する方針（素案）」に基づき、市長と教育長、教育委員にて、中学校給食の全員給食実施に向けての意見交換と協議を行い、今後の方向性や課題等の共有を図ることができました。</p> <p>第2回総合教育会議は、令和5年3月24日に、「いじめ重大事態についての意見交換」を案件として開催しました。会議では、事案の報告、早期のいじめ防止措置や、未然防止の取り組みなどについて、市長と教育長、教育委員にて、本事案の課題の共有と再発防止策について意見交換と協議を行うことができました。</p> <p>② 学校ブログについては、8月から本格運用を開始し、12月には活用研修を実施しました。活用研修では、他市の活用事例や市内でアクセス数が多い学校の事例紹介などを実施することで、学校ブログの活用の促進に繋がりました。</p>

### 重点的な取り組み：学校施設の環境整備の推進

小中学校のトイレについては、洋式化、ユニバーサル化、ドライ化を標準的な仕様として令和5年度までの整備完了をめざします。

小中学校体育館への空調設備については、令和6年度までの導入完了に向けて、整備事業者の選定を進めます。

また、学校施設のバリアフリーについては、児童・生徒や学校の状況を踏まえ、国の整備目標や財政支援制度などを勘案しながら、エレベーターを含めた円滑な移動支援に関する整備方針の策定に向けて取り組みます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 「枚方市学校整備計画」に基づくトイレ改修工事を実施。 ＜トイレ改修工事の実施学校数：小学校：19校、中学校11校＞ ② 小中学校体育館空調設備整備 DBO 事業について。 令和6年度の導入完了に向けて実施方針の公表等整備事業者の公募を実施。 ③ 「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」の策定。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレ改修工事を実施しました。小中学校のトイレの洋式化・ドライ化等については、令和5年度の整備完了をめざして計画的に取り組めます。</p> <p>② 小中学体育館への空調設備整備については、令和4年度に事業者を公募しま</p>

したが不調となりました。このため、令和5年4月に再度公告を行い令和6年度の導入完了を目指し整備事業者の選定を進めます。

- ③ 今後の学校施設のエレベーター整備の考え方を示す方針として、パブリックコメントを実施した上で「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」を令和5年3月に策定しました。方針では、エレベーターが整備されていない全ての小中学校を対象とし、特にエレベーターの必要性の高い医療的ケアを要する児童生徒の在籍校を優先に、毎年度2校程度のペースで、計画的にエレベーターを整備していくとともに、要配慮児童生徒の在籍校への整備が完了するまでの間について、整備の加速化を図ることとしています。